

I 宮古市中心市街地拠点施設の管理運営について

【市民交流センター（仮称）の運営について】

使用料の試算と主な経費、職員の勤務体制の見込みなどについて、市内の公共施設や8月に視察した八戸市ポータルミュージアム「はっち」など県内外市町村の類似施設を参考に下記のとおり検討を進めています。

1 施設の管理方法について

市民交流センター（仮称）（以下「交流センター」という。）は、市民の交流と活動及び情報発信を支援するための場を提供し、賑わいと活力あるまちづくりを推進するとともに、災害時における応急対策の活動拠点として、多くの市民等に利活用していただく施設です。

施設の管理運営については、概ね5年程度（30～34年度）を直営方式とすることで施設運営の基礎作りの期間と設定し、利用実績、施設管理料や使用料金収入等の経費を見極めながら、指定管理や業務委託への移行を検討します。

なお、指定管理方式については、設備保守等の施設管理を3施設一体で行うことから、コストに関しての優位性はないと考えられます。

(1) 開館日及び休館日

- ・年末年始（12/29～1/3）を除き開館する方向で検討します。
- ・施設設備の保守点検（メンテナンス）及びその他必要と認めるときは、臨時休館とします。

(2) 開館時間

- ・貸室の利用は、9時から21時30分とします。ただし、本庁舎、保健センターと出入口を兼ねるため、8時開錠とします。
- ・その他必要と認める場合は、臨時に、開館時間を変更できることとします。

(3) 使用料

- ・非営利利用を基本としますが、市民交流や賑わいの創出に資する場合は、利用も可とする方向で検討します。（例：姉妹都市や交流ある市町村に関する物産展等の公的な催事）
- ・貸室以外のスペースは、原則無料としますが、団体等が占有使用する場合は、有料とする方向で検討します。
- ・市民利用を優先しますが、利用促進のため市外の団体等の利用も可とする方向で検討します。
- ・使用料の減免は、利用者の固定化や負担の公平性を損なうことがないように、減免の範囲や事由を限定する方向で検討します。
- ・使用申込は、運用規定を定めませんが、煩雑にならないよう配慮します。

市民交流センター（仮称）の使用料（試算）

			1 時間当たりの 使用料の額（円）		時間帯で利用し た場合の額(円)	
部屋名	面積(m ²)	収容人員	9～17 時 まで	17～21 時 30 分 まで	9～17 8h 使用	17～21 4 h 使用
交流プラザ	424. 86	100～120	検討中	検討中	検討中	検討中
研修会議室 1	72. 88	30～40	300	450	2, 400	1, 800
研修会議室 2	72. 88	30～40	300	450	2, 400	1, 800
視聴覚 O A 室	68. 40	30～40	300	450	2, 400	1, 800
多目的ホール	282. 14	150～200	1, 000	1, 500	8, 000	6, 000
音楽スタジオ 1	32. 62	3～5	400	600	3, 200	2, 400
音楽スタジオ 2	51. 46	6～8	400	600	3, 200	2, 400
軽運動スタジオ 1	85. 41	20～30	300	450	2, 400	1, 800
軽運動スタジオ 2	120. 16	30～40	300	450	2, 400	1, 800
和室	96. 64	30～50	300	450	2, 400	1, 800
創作活動室	96. 48	20～40	400	600	3, 200	2, 400
				小計	32, 000	24, 000
				合計	56, 000	

※この試算は、市の公共施設の料金設定を参考に設定したもので、民間類似施設との比較により、例えば音楽スタジオなどは民間の営業を圧迫しないよう配慮します。

(4) 使用料収入の見込み

上記の使用料試算をもとに、使用料収入が見込める施設の稼働率を 40%と設定した場合の年間収入見込みは以下のとおりです。

なお、40%の設定に関しては、免除団体（幼稚園、小学、中学、高校等）や市が主催する行事等使用料収入が見込めない使用を 20%、空き室となる割合を 40%と見込んでいます。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{一日最大使用料} & & \text{稼働率} & & \text{開館日数} & & \text{年間収入見込み} \\ 56,000 \text{ 円} & \times & 40\% & \times & 359 \text{ 日} & \div & 8,041,600 \text{ 円} \end{array}$$

(5) 支出の見込み

通常ベースでの運営経費として、職員等の人件費、光熱水費、清掃等委託費、事業費を以下のとおり見込みます。

総額 42,594,000 円

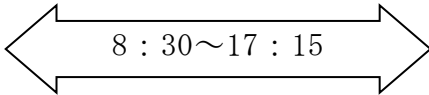
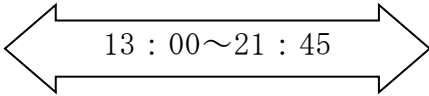
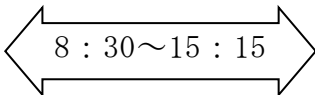
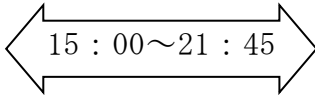
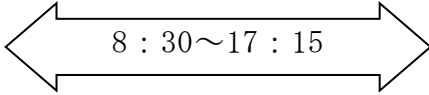
※ただし、職員の人件費は交流センターの管理運営以外にその他事務を兼務する。

(6) 職員体制

交流センターの開館時間は、8時30分から21時30分までの13時間となるため、職員は交代制の勤務となります。

必要人員は7名で、日勤、遅番の2交代制と想定しています。

勤務のイメージ

区 分	勤務時間	8 時	12 時	15 時	17 時	21 時
職員（日勤）	7 h 45m					
職員（遅番）	7 h 45m					
非常勤（日勤）	5 h 45m					
非常勤（遅番）	5 h 45m					
臨時（日勤）	7 h 45m					

※休憩時間は1時間

Ⅱ 宮古市庁舎跡地活用に関する基本計画の検討について

宮古市庁舎跡地活用に関しては、議会からの提言のうち、「分庁舎跡地活用」と「市庁舎跡地と旧愛宕小学校の一体活用」について、関係部署や議会との検討を進めています。

平成２８年度に実施した、「宮古市庁舎跡地活用基本計画策定支援業務委託」の成果品に、現時点の考え方を盛り込むなど、今後も必要な調査や調整を行い基本計画案の作成を進め、議会との調整、市民の参画による検討を進めてまいります。

※資料１ 宮古市庁舎跡地活用整備基本計画（案）骨子